

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科 3年制	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	眼科薬理学Ⅰ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1)
対 象 学 年	1年次	学期及び曜時限	後期 月曜日	教室名	
担 当 教 員	北野 富美雄				
実務経験とその関連資格	八尾徳洲会総合病院に25年間、薬剤師として勤務。 ①院内処方箋による外来調剤(外来患者)、入院調剤(入院患者) 眼科において外来患者、入院患者の服薬指導実施 (点眼剤、経口剤の用法、用量、薬理作用 副作用について) 副作用チェック、医師への報告 ②薬品の品質管理 (麻薬、劇薬、毒薬 冷暗所保存薬 普通薬について厳格な管理) ③他職種(医師 看護師 言語聴覚士 作業療法士 視能訓練士)勉強会での薬品情報提供(新薬 副作用) ④新薬治験・研究 医薬品の臨床治験の実施基準に従い、新薬の効果、副作用の調査、審査 ⑤医薬品の再評価・審査 認可された薬品において医薬品医療機器等法に基づく再審査、再評価の実施 ⑥臨床薬剤師(入院患者対象)に従事。院内臨床カンファレンスでの入院患者服薬状況、副作用の報告 情報提供				
《授業科目における学習内容》 眼の解剖、眼の機能 眼疾患 薬剤機序のメカニズムなどの眼科薬理学の基礎分野を履修することによって ① 眼科治療薬、② 眼科検査薬、③ 機能訓練薬が理解できる。点眼剤のみならず注射、内服薬など具体的使用法が理解できる。将来、視能訓練士の業務に役立つことができる。日常業務において、他の職種と緊密な連携をはかり、チーム医療に参画できる。眼科薬理学は国家試験の出題科目で、視能訓練士の国家試験の合格にも寄与できる。					
《成績評価の方法と基準》 本試験(記述形式)講義終了後、別日に行う 本試験 80% 授業態度 20% 本試験と授業態度で100% 本試験は視能訓練士国家試験に関連したものを出題する。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》 「 視能学 」 編集 丸尾敏夫 文光堂 2022年 「 点眼薬 クリニカルブック」 第2班 金原出版株式会社 2020年					
《授業外における学習方法》 講義の前後につながりがあるので、前回の練習問題を確認してほしい。次回にすることを予習してほしい。					
《履修に当たっての留意点》 わからないところがあれば、遠慮なく質問してほしい					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	眼構造、薬物吸収 分布 自律神経 受容体 が理解できる		教科書 配布プリント	眼構造の予習
	各コマにおける授業予定	眼の構造と薬物の吸収、分布 点眼剤の移行 自律神経 交感神経α β 受容体 副交感神経ムスカリン受容体 薬剤による散瞳 縮瞳 調節のメカニズムについて学ぶ			
第2回	授業を通じての到達目標	交感神経 α β 受容体 副交感神経 M受容体 アゴニスト アンタゴニストの概念、 交感神経アゴニスト(刺激剤)が理解できる		教科書 配布プリント	眼構造、薬物吸収 自律神経 受容体の復習と交感神経刺激剤の予習
	各コマにおける授業予定	アゴニスト交感神経刺激剤(ジピペフリン 眼圧低下 フェニレフリン 散瞳)についての臨床応用 副作用 作用機序 禁忌について学ぶ			
第3回	授業を通じての到達目標	交感神経 α β 受容体アンタゴニスト(遮断剤)が理解できる		教科書 配布プリント	交感神経刺激の復習と交感神経遮断剤の予習
	各コマにおける授業予定	交感神経遮断剤 α 遮断剤(ブナゾシン) β 遮断剤(チモロール) α β 遮断剤についての臨床応用 副作用 作用機序 禁忌について学ぶ			
第4回	授業を通じての到達目標	副交感神経 アゴニスト(刺激剤) アンタゴニスト(遮断剤)が理解できる		教科書 配布プリント	交感神経遮断剤の復習と副交感神経刺激、遮断剤の予習
	各コマにおける授業予定	副交感神経刺激剤(ピロカルピン)、副交感神経M受容体遮断剤 抗コリン剤 アトロピン シクロペントレート トロピカミド の臨床応用、作用機序 副作用 禁忌について学ぶ			
第5回	授業を通じての到達目標	緑内障治療薬が理解できる		教科書 配布プリント	副交感神経刺激、遮断剤麻酔の復習と緑内障治療薬の予習
	各コマにおける授業予定	交感神経刺激剤(ジピペフリン)、交感神経α 遮断剤(ブナゾシン) β 遮断剤(チモロール) α β 遮断剤、PG製剤(ラタノプロスト) 副交感神経刺激(ピロカルピン) 炭酸脱水酵素阻害剤について学ぶ			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	授業を 通じての 到達目標	①アレルギー眼疾患治療薬 抗アレルギー剤 免疫抑制剤 ステロイド剤②ビタミン欠乏症が理解できる	教科書 配布プリント	緑内障治療薬の復習と抗アレルギー剤 ステロイド剤 免疫抑制剤の予習
	各コマに おける 授業予定	①アレルギー疾患 花粉症 などの成因、症状 アレルギー疾患治療薬(抗アレルギー剤 免疫抑制剤 ステロイド)について学ぶ②ビタミン欠乏症 ビタミンK A B12 など作用機序 副作用 禁忌について学ぶ		
第 7 回	授業を 通じての 到達目標	①抗炎症剤 NSAIDs ステロイド ②白内障治療薬 薬理作用 副作用が理解できる	教科書 配布プリント	抗アレルギー剤 ステロイド剤 免疫抑制剤の復習と抗炎症剤、白内障治療薬の予習
	各コマに おける 授業予定	①炎症 痛み 熱 の成因 症状 抗炎症剤(NSAIDs 解熱鎮痛剤 ステロイド剤) ②白内障の成因、症状 白内障治療薬(グルタチオン)作用機序 副作用 禁忌について学ぶ		
第 8 回	授業を 通じての 到達目標	①局所麻酔剤 ②蛍光眼底造影剤 ③角膜保護剤	教科書 配布プリント	抗炎症剤、白内障治療薬の復習と局所麻酔薬 造影剤 角膜保護剤の予習
	各コマに おける 授業予定	①局所麻酔剤(リドカイン オキシプロカイン) ②蛍光眼底造影剤 ③角膜保護剤(ヒアルロン酸 コンドロイチン) 副作用 禁忌について学ぶ		
第 9 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 10 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 11 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 12 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 13 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 14 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 15 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			